

パースのスペシャリスト

漢方医学

波動治療家

芦原 正広 氏 インタビュー



問 患者さんに、鍼、気（エネルギー）、マッサージなど、どの治療法が合っているか、ということはどうに決められていますか？

答 すべての病気や症状には、必ず原因があります。その原因は、体の歪みやバランスの狂いです。それを、私が治すのではなく、その方の体、即ち脳に教えます。そうすると、脳は自分が歪んでいたことに気付いて、いい方向へと正していきます。鍼、気、マッサージ、どの治療法でもOKです。その方の体が本来持っている「治そうとする力」に働きかけるので、遠く離れた人に対して、気によって空間治療をすることもできます。

問 気という目に見えないもので治療することに対して、西洋の方の反応はいかがですか？

答 気の弱い所や強すぎる所、体調のよくない所を言い当てると、西洋の方には「アメイジング！」と不思議がられます。そして、症状が良くなると信頼関係が生まれます。

問 初めて気の治療を体験される方から一番多い質問は何ですか？

答 紹介で来られる方が大半ですので、みなさんどのようなことをするのかという情報はお持ちですが、「気の治療ですぐ楽になるのはなぜ？」ということをよく聞かれます。「あなたの生命力が出るようになれば、どんな病気も良くなりますよ」と答えています。

問 気に関して、普段から簡単に自分で気をつけることは何ですか？

答 何と言っても、身近な電化製品の『波動（電磁波）』には注意が必要です。特に電子レンジ、携帯電話には注意してください。

問 特に、寒い季節に有効な健康の保ち方をアドバイスしてください。

答 西洋の方は、少し体温が高めなようなので冬でもシャワーだけで平気なようですが、日本人は夏でも週に1、2度は湯船に浸かりたいものです。血行が悪いと冷えますが、寒い時期、寝るときに靴下を履いて寝ると、圧迫することにより血行が悪くなり更に冷えますので、履かないようにしてください。また、日中靴下を履くときも、足を締め付けない、ゆるめの靴下を履いた方がいいですね。

芦原 正広 氏：WHAT（Wave Harmony Actualisation Therapy）研究会を主宰する。